

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-キシレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

6 B 7 0 6 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： p-キシレン
- 2) 暴露方式： 半止水式
(暴露開始5日後までは週に3回、5日後以降は毎日試験液の全量を交換、密閉条件)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 助剤対照区, 0.250, 0.650, 1.50, 4.00, 10.0 mg/L
(公比 2.5, 助剤濃度一定: 80 mg/L, HCO-60およびDMFを使用)
- 6) 試験液量： 800 mL
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 40頭/濃度区 (1 連につき10頭で1 濃度区40頭)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析： HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の調製時および換水前の被験物質濃度が、設定値の±20%を越えたため、各影響濃度の算出には測定値（時間加重平均値）を採用した。

2) 21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

5.05 mg/L (95%信頼限界 : 4.38~5.94 mg/L)

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50) :

2.06 mg/L (95%信頼限界 : 1.83~2.33 mg/L)

4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOECr) : 1.29 mg/L

5) 21 日間の最小作用濃度 (LOECr) : 3.62 mg/L